

平成30年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 様似町商工会 経営発達支援事業評価委員会

2. 開催日時 平成31年3月27日(水) 11:00

3. 開催場所 様似町商工会 会議室

4. 出席者

(1) 外部有識者	様似町商工観光課 課長	原田 卓見 様
	様似町商工観光課 課長補佐	定木 基 様
	様似町観光協会 事務局長	板谷 潤 様
	日高信用金庫 様似支店 支店長	木村 浩二 様
	北海道商工会連合会 組織経営支援部 広域支援課兼企業支援課 主査	大越 千尋 様
(2) 内部委員	様似町商工会 会長	工藤 仁
	様似町商工会 副会長	酒井 健二
	様似町商工会 副会長	笹島 秀則
	様似町商工会 商業・サービス部会長	米田 靖
	様似町商工会青年部 部長	鳥井 貴充
	様似町商工会女性部 部長	早坂 節子
(3) 事務局	様似町商工会 事務局長	石井 俊英
	様似町商工会 経営指導員	河合 尚任

4. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、工藤会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

経営発達支援計画に関する目標と実績、評価見直しについて

(1) 経営発達支援計画について

事務局は、平成29年3月17日に認定を受けた経営発達支援計画についてあらためて事業の概要説明を行った。

(2) 平成30年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明し、資料の確認をした後、評価シートに基づき計画と実績について説明した。

平成30年度における、経営発達支援事業を実施した内容は以下のとおり。

①地域の経済動向調査に関すること

取組内容1：ヒアリングシートを活用した会員動向の把握

目標：30 実績：156 評価：A

検証結果 様似町商工観光課で実施していただいた「労働力」「事業承継」に関する事業所アンケート調査を協力したことにより、当町における労働力不足と各事業所の事業承継の考え方について現状把握ができた。
結果として今後の対応が課題となりました。
今後は、この調査を無駄にしないよう事業計画策定等に有効活用するとともに質の高い情報提供に心掛けていただきたい。

取組内容2：地域金融機関・専門家等の動向調査及び分析

目標：2 実績：1 評価：C

検証結果 日高信用金庫が発行している「地区内経済概況」を活用して管内経済動向の把握とともに、商工会ニュースを活用して情報提供を行いました。
当町のみならず管内の経済状況や一次産業の状況把握に効果的な資料を活用することで、小規模事業者へ有効な情報提供をできました
引き続き、地域の状況把握の資料として活用し情報提供に努めていただく。
今回は目標値をクリアしなかったため評価をCとしました。

取組内容3：インターネット等での情報収集

目標：2 実績：1 評価：C

検証結果 日経テレコン「POSEYES」や北海道が提供する統計データ等をホームページから情報を収集し、商工会ニュースを活用して情報提供を行い、最新の売れ筋商品等の生きた情報を提供することが出来ましたが、1件(回)の実施であったため評価をCとしました。

②経営状況の分析に関すること

取組内容1：経営支援等における経営分析

目標：20 実績：29 評価：A

検証結果：確定申告（青色申告決算）に合わせて、記帳機械化（ネットde記帳）利用者に対してシステム内の経営分析機能を活用して経営分析を行いました。
決算時における経営分析を行ったことにより、問題点が可視化されたことで事業主が今後の経営に前向きに検討するきっかけとなりました。

取組内容2：専門家を活用した経営分析

目標：20 実績：0 評価：D

検証結果：専門家を活用した経営分析は、実施できませんでした。

③事業計画策定支援に関すること

取組内容1：事業計画策定説明会の開催

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：伴走型補助金を活用して2月22日に講師に細田行洋中小企業診断士を招聘してセミナーを1回開催しました。

セミナー参加者には事業計画策定の重要性をあらためて認識してもらうことができましたが、開催時期が悪くセミナー開催のみとなり個別相談には至らなかったことが課題。

今後は、計画的にセミナーの開催時期を決定して、個別相談による支援を強化して効果的な事業計画策定に結び付けたい。

取組内容2：創業・第二創業（経営革新）支援

目標：1 実績：0 評価：D

検証結果：創業希望者がいなかったため、目標件数を達成できなかった。

取組内容3：事業承継支援

目標：1 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

今後は、事業承継の対象となる小規模事業者を掘り起こし、課題を抽出し円滑な事業承継が図れるよう支援し、専門的な支援が求められる場合には専門家と連携して支援していく。

④事業計画策定後の実施支援に関すること

取組内容1：巡回指導によるフォローアップ

目標：80 実績：124 評価：A

検証結果：事業計画策定には至らなかったが、情報提供等を巡回訪問により実施しました。相談内容も多様化しているので職員の資質向上が不可欠であると考えています。今後も巡回訪問を通じて聞き取りを行う中で、必要に応じて支援していきたい

取組内容2：各支援機関の支援

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：国や各支援機関等の支援策のパンフレット等の情報提供を行いました。

⑤需要動向調査に関すること

取組内容1：消費動向調査の実施

目標：調査分析 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

今後は地域商品券販売時など多くの消費者が集う場面で、消費者ニーズ調査を実施して集計・分析を行い、小規模事業者に情報を提供します。

取組内容2：インターネットでの情報収集（会報発行）

目標：6 実績：6 評価：A

検証結果：日経テレコン「POSEYES」や北海道が提供する統計データ等をホームページから情報を収集し、商工会ニュースに掲載して情報提供を行いました。引き続き、最新情報の収集ツールとして活用し、商工会ニュースに掲載して情報提供に努めます。

⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組内容1：専門家・専門機関との連携による販路拡大

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

地場の品質の高い水産資源を活用して商品開発を目指す小規模事業者を掘り起こすとともに既存商品の磨き上げをして付加価値を付け、新たな需要開拓に向けた支援を行います。

取組内容2：展示商談会への出展による販路拡大

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

今後は、北海道商工会連合会や日高振興局等が主催する展示会・商談会への参加勧奨を積極的に行います。

取組内容3：インターネット販売による販路拡大（SHIFT登録）

目標：5 実績：2 評価：D

検証結果：伴走型補助金を活用して、様似町商工会ホームページのリニューアルを施し、利便性の向上と小規模事業者の販路開拓支援と地域振興に資するためのホームページ全面リニューアルを実施しました。

また、ITスキルアップ研修【個別研修】（北海道主催事業）を活用して、専門家の支援により1社が販路開拓に向けたオンラインショップ「北海道発見市場 北市ドットコム」への出展を決めました。

商工会ホームページを活用して最新情報の提供が可能となったことと簡単に更新作業ができるようになりましたが、販路開拓に向けた事業者紹介ページが

充実していないことと、SHIFTへの登録件数を増やせなかったため、概ね目標は達成したが、評価はDとした。

⑦地域経済の活性化に資する取組

取組内容1：地域イベントによる地域活性化事業の実施

目標：2 実績：2 評価：A

検証結果：様似町、様似町観光協会や産業団体が中心となり「さまにウニまつり」「地場産フェア」を開催し、町外客を誘引するイベントを実施（協力）しました。町内外から多くのお客様が訪れ、賑わいを創出し地区内の飲食店等は普段の2～4倍の来店客で経済効果は絶大で地域活性化に結び付けることができました。

取組内容2：消費拡大のための販売促進事業の実施

目標：2 実績：2 評価：A

検証結果：商業・サービス部会が中心となり「お買物スタンプラリー」「歳末大売出し」を実施しました。「さまにお買物スタンプラリー」は新規顧客開拓を目的として、「歳末大売出し」は日頃のご愛顧に感謝しお客様還元を目的とした事業として定着し消費者から高い支持をいただいています。

取組内容3：プレミアム付き商品券事業の実施

目標：2 実績：2 評価：A

検証結果：地域の消費喚起として位置づけられているプレミアム付き商品券発行事業を実施しました。恒例行事として定着し、町外への消費流出抑制に効果が大きく地域経済の活性化に結び付きました。今後も継続事業として実施させていただくため、町の支援についてご理解をいただくよう協議していく

取組内容4：地域ブランド及び特産品開発事業の実施

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実績なし

今後は地場産品の掘り起こし等を行い、新たな商品開発に向けて協力・支援をしていきます。

取組内容5：世界ジオパーク認定に伴う「アポイ岳ジオパーク」関連事業の支援

目標：2 実績：1 評価：D

検証結果：10月に開催された「アポイジオパーク全国大会 大抽選会」において商工会員より提供いただいた地場産品等を参加者にプレゼントし、様似町PRの支援をしました。

⑧他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報発信に関すること

取組内容1：関係機関との情報交換

目標：2 実績：2 評価：A

検証結果：日本政策金融公庫国民生活事業とのマル経協議会では、円滑な金融支援についての協議を年2回行った。

この他、日高東部商工会広域連携協議会（年1回）を実施した。

⑨経営指導員等の資質向上に関すること

取組内容1：研修等への派遣。

目標：経営指導員2、補助員2、記帳専任職員2

実績：経営指導員2 補助員2、記帳専任職員2

検証結果：経営指導員は、中小企業大学校旭川校への専門研修へ派遣し、所得税法について資質向上を図った。また北海道商工会連合会の経営指導員研修会では経営支援事例を研修することで支援ノウハウを修得することができました。

補助員及び記帳専任職員については、全道商工会職員研修会を受講しました。

取組内容2：職員会議の開催

目標：12回 実績：12回 評価：A

検証結果：日々、経営支援内容を全職員が報告することとあわせ、今月の行事予定の確認と支援目標の確認を行っています。

少数職員の中で発言しやすい環境であり、相談しやすい雰囲気では支援ができると感じています。チームとして個社を支援できる体制の構築を検討しているところです

⑩事業の評価及び見直しに関すること

取組内容1：事業評価委員会の開催

目標：年1回 実績：年1回 評価：A

検証結果：全体計画の説明、本年度の実施状況と実績報告を踏まえて評価委員より提言いただき、PDCAが機能するよう取り組みます。

これまで同様、評価委員として、役場担当課長、信金支店長等に参画いただき、提言された内容を理事会に諮って事業を検証し質の高い支援ができるようにしていきたいと考えています。

(3) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見は下記のとおり

(大越委員) 今後は、事業承継支援・展示会、商談会の出展を主たる目標として、支援していただくようお願いする。

商工会連合会主催による商談会(10月29日)や北海道貿易協議会主催の商談会では連合会ブースもあるので出展募集を募り、1件でも多く出展するよう努めてください。

伴走型補助金を活用することで事業者負担なく参加可能です。

(酒井委員) インターネット販売による販路拡大というが、インターネット販売状況はどの程度なのか把握しているのか?

また「北海道発見市場 北市ドットコム」への出展を決めたとあるが、確認が出来ない。

(事務局) BtoBとBtoCのサイトがあり、BtoB(企業間取引)のサイトに掲載されていますので後ほど確認していただきたい。

(定木委員) 労働力調査で各事業所を巡回して感じたことは、町や商工会に要望がある感じを受けなかったのが現状で、労働力不足は業種により偏った状況で、今後、柔軟な対応が必要であると感じた。

(米田委員) 経営発達支援事業は理解するが、何を根拠に目標数値等を掲げているのか目標値に対して実績は今までの指導内容を数値化しているに過ぎず、評価することに疑問を感じる。5年後、10年後には会員数は激減すると思われるので、先を見据え、見極めが必要。昔のままの考え方では生き残っていけないと考えている。

(笹島委員) 先を見据えて検討する必要性を感じる。経済動向については信金の方が解っているのでは

(木村委員) 様似町も人口減、事業承継は喫緊の課題。決算書の数値はあくまで結果であって財務内容ではない非財務内容が重要とされ、専門家派遣等を活用して支援をしているが結果が出るまでには時間を要します。

(工藤会長) 各企業の生産性が上がり、生活が維持できるような賃金が得られれば、人口の定着や後継者育成にも期待ができる。

その他、事務局は意見を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。
時に11時50分であった。